

植調研究所の増築

7月から着工していた植調研究所の増築工事が、10月末にはお蔭様ではほぼ完成の運びとなった。僅かに延べ約160m²の増築（2階建）ではあるが、残留農薬分析実験室（1階部分）と会議室（2階部分）を新設し、図書室・応接室などを付随的に改装整備した。もともと狭い研究所のこととて、完成前から既に結構便利に使用させていただいており、今はご理解いただいた関係各位に感謝の念で一杯である。

しかし、研究所の整備については、兎角、環境がよくなると却って仕事の能率が落ちるとよくいわれる。本当に能率が落ちるとは思えないが、以前の不備な環境での仕事が懐古され、あんな状況下でもあれだけのことができたのに、これではと比較されるためであろう。余程頑張らないと見劣りしてしまうようである。一方ではまた、人から借りてでも読まねばという本でも、それが入手できて自分のものになると何時でも読めるということで、つい積んどく式になってしまうあの安堵感が、施設整備についても、悪いことではないが従来なかったゆとりが緊張感を柔げることも人情としていなめない。しかし、幸か不幸か近年は、国公立の試験研究機関での委託試験の受託条件が次第に厳しくなる情勢にあり、植調研究所の役割はそれに伴って格段と重大さを増してきており、その自覚から現在の研究所の緊張感は十分と感じられる。

今回の施設の増築、整備によって、研究所の業務が一層充実し、能率化されるよう、身をいまして精進し、関係者の期待にそいたいものである。

〔財団法人 日本植物調節剤研究協会常務理事 吉田孝二〕

目次 (第20巻第9号)

野菜栽培における植物生長調節剤利用の現状……………	2
＜野菜試験場栽培部 桂 直樹＞	
1. はじめに……………	2
2. 野菜栽培の特徴……………	2
3. 野菜栽培におけるPGR……………	5
4. 野菜用PGRの動向と将来……………	9
沖縄におけるサトウキビ畑の雑草について……………	12
＜琉球大学農学部 石嶺行男＞	
1. はじめに……………	12
2. サトウキビの栽培と作型……………	13
3. サトウキビ畑の雑草と防除……………	13
4. 主要雑草と雑草害……………	14
ウニコナゾールの作用機作について……………	15
＜住友化学工業 泉和夫・大塩裕陸＞	
1. はじめに……………	15
2. ジベレリンとの関係……………	16
3. <i>Gibberella fujikuroi</i> を用いての検討……………	18
4. セル・フリー系での作用部位の検討……………	19
5. おわりに……………	20
新登録除草剤一覧……………	21
＜農林水産省植物防疫課＞	
新登録生育調節剤一覧……………	30
＜農林水産省植物防疫課＞	